新聞リスト

年	月	日	新聞社	見出し	備考	
1912	1	29	朝日	朝	演げい風聞録	
1913	6	26	朝日	朝	演げい風聞録 冠十郎威張る	
1924	5	25	東京日日		廃滅の江戸芸術車人形 逍遙博士に見いだされ来月上旬東京で公演	
1924	5	25	国民		江戸の面影車人形近く公演 廃滅の江戸藝術 車人形 逍遙博士に見出され来月上旬東京で公演	
1924	6		国民		人形芝居を現代化すべき 資料としての車人形(上)(下) 坪内逍遙	
1928	7	17	東京日日		日本一の折紙つきで世に出る郷土芸術「車人形」廃り行く人形遣いと説経師	記事画像掲載
1928	7	27	朝日	朝	「車人形」を観る(上) / 日高只一	
1928	7	28	朝日	朝	「車人形」を観る(下) / 日高只一	
1929	1	20	東京日日		武蔵野を偲ぶ数々の珍品「武蔵野今昔の会」けふから二十八日まで	記事画像掲載
1929	1	22	東京日日		車人形お目見得	
1932	4	29	朝日	朝	車人形を見る会	記事画像掲載
1933	7	10			不気味な沈黙にぞっと身をふるわせた 人形芝居の楽屋 物言わぬ人形の首の行列 前田青邨	
1933	12	4			文楽人形小話 第一回興行中心に 三宅周太郎	
1934	9	5	東京日日		「街のたより」	
1935	10	12	東京日日		郷土芸術運動	
1936	1	23	東京日日		武蔵野の郷土芸術 車人形の家元“情実”を超えて埼玉から八王子へ	
1936	10	30	東京日日		車人形浄瑠璃 AK(東京放送局)から放送	
1937	4	15	東京日日		観光祭に「車人形」郷土色豊かに公演と決る	
1937	6	22	朝日	夕	趣味・娯楽／おどる人形集(1) / 女には足がない文楽と淡路の手繰り	
1937	6	29	東京日日		「車人形」の名の起り 郷土史家に面白い研究題目	
1942	3	3	読売		農村女性の心構え 女流作家に聴く 一 「らしく」を完成語る人 林芙美子さん	
1942			読売		農村女性の心構え 女流作家に聴く 二 「車人形」に親しめ語る人 川上喜久子さん	
1942			読売		農村女性の心構え 女流作家に聴く 三 生きる道の創造 語る人 壺井榮さん	
1942			読売		農村女性の心構え 女流作家に聴く 四 良さを大切に 語る人 眞杉静枝さん	
1942			読売		農村女性の心構え 女流作家に聴く 五 よき母となれ 語る人 山川朱美さん	
1942			読売		農村女性の心構え 女流作家に聴く 終 女の生きる道 語る人 吉屋信子さん	
1950	10	9			興亡岐路の八王子車人形	
1952	2	15			車人形などの保護を申請 南都に伝わる郷土芸能五つ	
1953	11	14	朝日	朝	(13) 車人形	
1954	2	23	読売	夕	[私のコレクション] 首人形 ^{ママ} 石川丑之助(44)さん	石井丑之助
1956	3	25	読売	夕	劇団プーク郷土人形を使う	
1956	3	31	読売	朝	[編集手帳]	

年	月	日	新聞社	見出し	備考
1962	4	30	朝日	車人形を新しい児童劇に 秋間老人、滅びゆく郷土芸能に活 まず「サルカニ合戦」で 浄るりに代るコーラス	
1964	9	5	読売	夕 [民俗芸能めぐり] 44 八王子市の“車人形”	
1965	7	3	朝日	朝 「車人形」が西独へ ミュンヘン市立博物館に寄贈	秋間一昇座
1965	7	3	読売	朝 [いずみ]	秋間一昇座
1969	10	9	朝日	朝 失われた無形文化財 八王子車人形の座元 西川古柳さんの死	
1970	5	21	朝日	朝 「車人形」を記録映画に 一年がかりで完成 久米井さん	
1971	8	9	朝日	朝 本格的な研究まとまる 八王子の久米井さん 独特の農民芝居「武 蔵車人形」 自費出版を計画 通説・大家の誤り指摘	
1972	6	16	読売	夕 [ステージ] 層の厚さを再認識 女義太夫と地方の人形芝居	
1977				海を渡る「八王子車人形」モスクワ「世界大会」へ 五月末出 発 米建国祭にも参加	
1978	1		ショッパー	(八王子百景 祭り・民俗行事 車人形(清姫道行)高橋清和(下 恩方町)	
1978	4	20	朝日	グループを歩く 西川古柳一座 遣い手の表情、人形そのまま	
1978	6		暮らしの新聞	「明日をあやつる」東京都無形文化財八王子車人形 四代目家 元 西川古柳さん	
1979	2	16		八王子に生きる 車人形一筋に	
1980	12	22	朝日	「説経節」復活した！女性ヘルパー激励、立ち直る 失意30年、 美声戻る 若松若太夫	
1981	1	25	東京	八王子車人形 中南米5カ国で公演へ ” 民俗芸能の紹介だ” 28日出発 最後の仕上げに励む	
1981	4	24	朝日	生きている人形芝居展	
1981	11	18	毎日	民権運動の熱気、ポスターに 八王子 身障青年の力作、好評	
1981	11		文化	加治東公民館で八王子車人形公演	
1982	10	28	読売	車人形・説経浄瑠璃 来春楽しみ復活公演八王子に後援会が発足	
1982	11	14	朝日	ヤングに人気、古典、大衆芸能 3カ所でブックフェア 売れる” 参考書”	
1982	11	24	東京	復活の鐘鳴る「八王子車人形」	
1983	3	25	読売	夕 車人形と説経節 国立劇場が民俗芸能公演30日と31日	
1983	3	31	朝日	八王子の「車人形」と「説経節」国立劇場で伝統芸をご披露	
1983	4	6	読売	創刊郷土芸能のとりで 八王子車人形説経浄瑠璃の会	
1983	5	31	読売	ズラリなつかしい娯楽 八王子市郷土資料館 大衆劇団、車人 形、地芝居など 衣裳やピラ展示	
1983			The Daily Yomiuri	'Kuruma Ningyo' Plays At National Theater	
1983			広報はちお うじ	(郷土芸能「車人形」)	
1983				郷土に生きる人形芝居公演 8・9日国立劇場	
1983				郷土の人形芝居集める 国立劇場の民俗芸能公演	
1984	3	7	読売	夕 車人形の唐人おきち 民族楽団「ふきの会」	
1984	3	12	読売	夕 変身テーマに 芸団協第10回公演 13日から国立劇場	
1984	8	31	読売	朝 ハンデ乗り越え 人形劇 手話で歌も歌います デフ・パペッ トシアター・ひとみ	
1985	4	27	毎日	ヤングヤング 車人形 津軽三味線と共演も	
1985	8	7	読売	朝 [行ってみました] 奥多摩郷土資料館 野生が息づく奥座敷	
1985	10	3	朝日	夕 新人国記 '85 東京都 土着の色・時代の色	

年	月	日	新聞社	見出し	備考
1986	3	14	東京	夕 奥多摩の伝統芸 国立小劇場で晴れ姿 意気上がる八王子車人形一座	
1986	4			車人形 西川古柳座 来月2度目の海外公演 スリランカなど3か国へ	
1987	5	7	朝日	江戸アニメ写し絵 本になる 伝承者・小林さん 研究書を出版 幻となった庶民芸能すべてを浮き彫りに	
1987	8		東京タイムズ	絵筆三代 鈴木信太郎画伯の明治・大正・昭和	
1987	10		朝日	守り育てよう 八王子車人形 前市長らが発起人 後援会スタートけいこ場こけら落としの12日	
1988	1	5	産経	多摩を拓く 伝統芸能 車人形に取り組み小山めぐみさん(26) 魂を魅せられて 感動で跳びこんだ 修業はこれから	
1988	3	26	アサヒタウンズ	よみがえった川野の車人形 待ちに待った日	
1988	6	21	読売	夕 アジアで初世界人形祭 海外25か国、31劇団 日本の文楽、車人形も	
1988	10	1	広報はちおうじ	八王子川野初共演2つの車人形 受け継がれる伝統芸能	
1988	11	18	EL DIARI DEL FESTIVAL	HACHIOJI KURUMANINGYO	
1988	12	21	読売	八王子車人形 笹野逸代さん27 ズシリ130年の伝統芸	
1989	4	2	読売	清流 再び車人形と国際交流	
1989	5	11	MY TOWN まごころ	全日本郷土芸能協会会員八王子車人形家元四代目 西川古柳さん	
1989	7	11	読売	八王子車人形フランスへ 研究所から招へい 家元の西川さん 父子 専門家に実技指導	
1989	7	19	読売	夕 八王子車人形人形師の西川様 セミクジラのヒゲどうぞ 府中競馬用鞭職人 鈴木高志 ずっと13キロ寄贈 西川さん大喜び 仕掛け用に不可欠	
1989	7	21	クレッシェンド	八王子車人形と文化の継承	
1989	8	26	読売	仏で八王子車人形理解深め 家元・西川さん帰国	
1989	11	26	産経	「八王子車人形」を現代音楽の調べて きょう「スタジオ錦糸町」初ジョイントで型破りな舞台に	
1989	11	26	読売	人形に魂入れ50余年 西川さん(八王子車人形)大臣賞 保存伝承の努力報われる	
1990	3	1	京王ニュース	『沿線の歴史文学自然を訪ねて』京王の文化探訪、第1回会員募集	
1990	6	1	読売	八王子車人形 共演 古典落「芝浜」あす西川古柳座けいこ場	
1990	7	1	わがまちはちおうじ	コミュニティから世界へ八王子車人形・西川古柳一座	
1990	8			台湾の詩人、八王子へ 林恭祖さん16日から親善交流	
1990	10	11	朝日	朝 八王子車人形ピンチ 都無形文化財 財源・後継者難 守ろう庶民文化の華	
1990	10	15	東京	都無形文化財 八王子車人形 伝統芸能に理解を 地元の写真家が名場面を集大成 17年の決勝、初の写真集 力強さと素朴さ 「若い後継者の呼び水に」	
1990	10	17	商工日日	まもろうふるさとの文化八王子東ロータリークラブ創立10周年記念事業に八王子車人形写真集を提携出版	
1990	11	3	西東京リビング2	編集長インタビュー 車人形の力強さと人間の情念を表現 四代目宮川氏対談	
1990			朝日	多摩を足元から見つめ直そう 地方史研究協大会 八王子主会場に10月開催 民衆史・開発テーマに 立川	

年	月	日	新聞社	見出し	備考
1990			朝日	広告 八王子車人形 宮川孝之=写真集	
1990				女流義太夫”国立元年”	
1991	3	25	毎日	夕 中世の愛 スーパー歌舞伎で オグリ	
1991	4	11	ニューファミリーいちかわ	世界の人形演劇の中でユニークで優れた”車人形 西川古柳一座公演「平家物語」5月17日(金)市川市文化会館”	
1991	5	5	毎日	伝説の女たち照手姫 戦国末世、波乱の女性像	
1991	9	4		八王子車人形 古里の芸能知って! 7日、市民会館で公演 現代語の「夕笛」披露	
1991	9	25	毎日	夕 新橋演芸場「オグリ」の世界 ハイテク演出も楽しみ	
1991	10	13		“後継”に強い関心 人形芝居サミット 活発な交流始まる	
1991	10	13	朝日	人形サミット始まる	
1991	10	13	読売	初の全国人形芝居サミット 伝統芸能継承に熱い思い各座代表「頭」を手に出席 宗吾交流申し合わせ	
1991	10	13	毎日	全国人形芝居サミット「後継者の育成」など 200人出席 悩み、現状話し合う	
1991	10	14	朝日	初の人形芝居サミット閉幕 全国交流で大きな成果 来年以降も開催 4団体が次々と公演 後継者 熱い視線	
1991	10	14	読売	全国人形芝居サミット 地元中学生が熱演 各座の代表交流深める 2日目	
1991	10	20	神戸	三原 全国人形芝居サミット 再生へ声なき人形の声代弁	
1991	10	23	熊本日日	夕 伝統の灯は消さない 淡路島で全国人形芝居サミット 高齢化、資金難が悩み 清和文楽も参加 行政の支援求める	
1991	11	18	読売	親鸞聖人の人形浄瑠璃 名古屋別院で上演 300年のタブー破り 来月13日「報恩講 もっと多くの人に」	
1991	11	28	朝日	論壇さびしい伝統芸能保護の実情	
1991	12	10	中日	人形浄瑠璃「親鸞」の試み 真宗のまなこ頭らかに “庶民離れ”の反省込めて 本田神晃	
1991	12	20	はちおうじの教育	人形に心をこめて	
1992	1	1		義太夫(或る高校での学校巡演)	
1992	2	20	みんなとブーク	車人形の世界を広げ -フラメンコ・歌劇カルメンに挑む- 八王子車人形 西川柳時	
1992	5	4	新聞名不明 岐阜版	切ない節回しで魅了 大垣 新内公演、家元も出演	
1992	6	22	週刊教育資料	伝統芸能車人形とともに	
1992	7	12	日経	一芸社員 人形遣い・マッサージ “B面人生”の開拓に喜び 仕事に生かして抜てきも	
1992	8	1	広報はちおうじ	八王子車人形「平家物語」を公演	
1992	8	11	産経	八王子が誇る「車人形」昔を伝える 来月5日には市民会館で公演	
1992	9	25	読売	車人形 西川古柳座 来月、2度目の海外公演 スリランカなど3か国へ 地元人形劇団とも交流	
1992	9	29	読売	歳月をかさね、まもり継がれた多摩の郷土芸能。	
1992	11	30	産経	浪曲に乗せて人形芝居 5,6日に西川古柳座	
1992	11			来月、浪曲と初共演 2か月かけ自作の脚本 佐倉の伝記 宗吾と甚兵衛 現代語風アレンジ	
1993	2	19	日経	夕 一人遣いの人形に焦点 国立劇場・民俗芸能公演	

年	月	日	新聞社	見出し	備考
1993	3	26		釧路管内 9 3 町村予算点検<下> ”産業” に押され気味住民の意識高揚も必要車人形を招聘	
1993	6	8		来苦中の「八王子車人形」一行 千人同心の墓を参拝 花を手向けて合掌 先人たちの苦勞しのぶ	
1993	10	4	朝日	写し絵と説経節の世界70年ぶりによみがえる 多摩でたしまれつつ姿を消した・：国立で9日夜「信田妻」公演 説経節の会と劇団みんわ座	
1993	10	7	毎日	「説経節」の都無形文化財指定記念して「写し絵」と同時上映 80年ぶりによみがえる伝統芸能 9日「くにたち市民芸術小ホール」	
1993	12	16	産経	芸術祭賞 2 2人と5団体に	
1993	12	16	朝日	朝 芸術祭賞に計2 5件 個人20件・団体5件「夢千代日記」三田さんら	
1993	12	16	東京	朝 芸術祭賞 2度目の三田佳子さんらに	
1993	12	16	読売	朝 三田佳子さん2度目の受賞 芸術祭賞に25件決まる	
1993	12	16		芸術祭賞に三田佳子さんら	
1993				平成5年度芸術祭賞受賞	
1994	10	5	読売	朝 八王子車人形に理解を！八王子高の同好会発足から半年	
1995	3	19	新聞名不明 多摩版	「岡山西畑」「山形・庄内出羽」「中国の名人」と合同公演 八王子車人形「西川古柳座」西川さんが企画 大蛇退治／妖怪5段化け／虎と戦う美女／八百屋お七	
1995	8	9	読売	小栗伝説を多角分析 八王子 あすから「をぐりサミット」プレ・イベント 異分野の21人が「集団展」	
1995	10	16	朝日	ふたり 当世名場面 小栗判官照手姫 説経節との共演で”再会”	
1995	10	20	新聞名不明 多摩	軽快な動き、豊かな表情 八王子車人形西川古柳座 ろくろ車で舞台駆け けいこを体験 重さになすすべなく あすから合同公演	
1995	10	22	瀬戸内タイムス	八王子車人形と島田人形浄瑠璃の共演	
1995	11	2	もしもししんぶん	西川古柳さん 4 7歳の転機。文楽師匠に弟子入り。一から出発し 娯楽も何もない時代 車人形の伝承を決意	
1996	1	24	読売	[車人形] 卒論テーマに 足で取材、由来解く 一年間、後援会など回り 原稿用紙で70枚 操り方も細かく	
1996	2	24	読売	朝 西川古柳座 家元譲り宗家襲名へ 四代目の瀬沼さん「今後も舞台に制作に」八王子車人形 生き生きライフ	
1996	4	28	東京	八王子車人形・西川古柳座 伝統ベースに新しい試み ただ一つのプロ劇団 今秋、5代目が襲名披露 フラメンコ、落語も演目に 「ろくろ車」使い1人で操る	
1996	5	9	新聞名不明 多摩	シンセサイザーやフラメンコ取り入れ 親しみやすい伝統芸能目指す 都無形文化財 八王子車人形 5代目に西川柳時さん 10月に襲名披露公演	
1996	6	20	産経	朝 家元が五代目に 都の無形文化財「八王子車人形」10月に襲名披露公演	
1996	6	20	読売	朝 伝統芸能に新風を 八王子 車人形5代目家元・西川柳時さん 10月に襲名披露	
1996	6	28	BÁBVILÁG	UNIMA '96 Nemzetközi Bábfesztivál	
1996	7	1	広報はちおうじ	八王子車人形襲名披露	
1996	7	16		ぴーぶる in トウキョウ 八王子車人形5代目家元を襲名 西川柳時さん(42) 5代目は世界に広げる努力	
1996	8	9	読売	戦火の中、命懸けで守った伝統 多摩史再訪 車人形 常に新たな試みに挑戦 知名度上がり海外公演も	
1996	10	27		「八王子車人形」を堪能 都文化財人形芝居 5代目が襲名披露	
1996	11	16	読売	「車人形」国文化財に 審議会答申 喜びと決意、伝承の家元	

年	月	日	新聞社	見出し	備考
1996	11	16	毎日	車人形4代目家元に干渉 八王子市長が政治的圧力 元市長が後援会長辞任	
1996	12	18	産経	大学生との共演実現へ 八王子車人形 カレッジタウンに新たな1ページ 洋楽演奏や語りを担当	
1996	12	18		『八王子車人形』が無形民俗文化財に 西川座長に通知書	
1996	12	20	はちおうじの教育	八王子車人形 伝統を守り、そして育てる	
1997	1	7	東京	文化芸能保存を紹介し秀逸(「五代目参り候・八王子車人形160年目の出発」)	
1997	3	1	読売	夕 大江巳之助さん死去 「人形師が偉くなつてはダメ。自分は職人で、役者さんが先生」	
1997	4	9	読売	八王子 車人形若人とジョイント 落語、ギターに合わせ舞う	
1997	4	13	毎日	伝統の「八王子車人形」若者に照準 大学生とジョイント 26日 学園都市センターで	
1997	5	7	毎日	伊藤比呂美のコトバコトバ 説経節・小栗判官 えいさらえい	
1997	9	4	読売	八王子の伝統芸能「車人形」中国舞踊に挑戦 家元の西川さん襲名披露兼ね6日公演	
1997	9	12	読売	車人形 伝え続ける浄瑠璃の技(奥多摩)	
1997	11	13	読売	伝統の車人形 ただいま稽古中 八王子市立恩方一小 ふるさと造形クラブ 隣接の人形一座が指導 台本も手作りで 16日の学芸会で披露	
1997	12	24	東京	八王子南ロータリークラブWEEKLY(八王子郷土芸能車人形公演)	
1998	7		広報はちおうじ	八王子車人形の定期公演	
1999	5	22	朝日	寄席 林家正雀「塩原多助」車人形が効果的 丹念な演技	
1999	5			林家正雀が『塩原多助 国立演芸場 八王子車人形と共演』(平成29年度調査)	
1999	5		熊本	3日、鏡町で公演 タンゴに合わせ江戸人形芝居 ベルギー古城音楽祭	
1999	8	1	広報はちおうじ	特集八王子車人形江戸から受け継ぐ伝統芸能	
2000				八王子車人形4代目ウニマの名誉会員に	
2000	11	2	東京	『八王子車人形』の宗家西川柳峰さん死去78歳	
2000	11	2	読売	訃報 西川柳峰氏	
2000	11	19	読売	故西川柳峰氏	
2000	12	24	読売	追悼抄 農村芸能を”文化”の域に 国の記録選択無形民俗文化財「八王子車人形」の宗家 西川柳峰さん	
2001				中央大学 第1回 ホームカミングデー パネルディスカッション パネリストに6人決まる 八王子郷土芸能 八王子車人形を上演「三番叟」を上演	
2001	2	8	朝日	江戸末期からの芸能ウルグアイでも評価 八王子車人形が演劇賞	
2001	11	16	読売	八王子車人形 世界に誇る技 ピンチ 市が後継養成講座	
2002	3	21		車人形触ってみて 寄付金もとに2体購入 子供たち対象に指導 来月から 八王子市郷土資料館	
2002	6	19		「三国」の交流復活目指す 新しい風 地域社会活性化研究会	
2002	6	20	読売	多摩の芸能 教育の場に 八王子「綾織の会」メンバーがライゲル教師向けイベント	
2003	1	1	東京	大江戸自遊自在 娯楽の達人たち 奇想天外な筋書きで魅了 粋に伝える遊び心 車人形 遣い手と一体 力強く	
2003	8	5		文楽鬘の展示施設を拓いた 名越昭司さん73	

年	月	日	新聞社	見出し	備考
2003	8	22	産経	「武州八王子物語 八王子車人形四代目古柳」 大塚正春 木版画	
2003	9	1		演芸 国立名人会 落語と人形 呼吸ぴったり	
2004	3	14	読売	多摩の建築 八王子車人形・西川古柳座 芝居小屋の情緒残す	
2004	4	24		いま邦楽は 新内 知名度アップに懸命	
2004	11	1	広報はちおうじ	車人形を通じて恩方中と勇払中が姉妹校に	
2006	1	1	広報はちおうじ	文化や暮らしの中で光る技	
2006	4	23	日経	かたち百景 八王子車人形 箱車に腰掛け 速く力強く	
2006	9	10	よみうりサンタマリア	次代へ受け継ぎたい伝統芸能 八王子車人形	
2008	5	28		だいろ〜ぐ東京彩人記 八王子車人形5代目家元西川古柳さん 後世につながる作品を	
2012	1	23	読売	山梨の芝居復活力貸す 八王子車人形 西川古柳さん	
2012	4	1	町自連だより	八王子わが町 西川古柳さん	
2013	6	18	読売	私の1冊 「おおきな木」 西川古柳さん	
2017	5	10	毎日	「八王子車人形」西川古柳座 地域の芸能 未来へ 4年間の連続公演に挑戦	
2017	6	9	日経	眠れる文楽人形に命 北海道で唯一の浄瑠璃一座、文化発信狙い年20回公演 矢吹英孝	
2017	12	3	読売	次世代が挑戦 車人形を伝承	
2018	1	12	シカゴ新報	太鼓レガシー14: 音楽性や美的感覚を高めてステージへ	
2018	3	5	福島民友 みんゆう Net	郡山・日和田「高倉人形」・・・120年ぶり舞台 浄瑠璃が『復活』	
2018	3	22	読売	伝統「車人形」とダンス 八王子 小中学生ら競演	
2018	11	23	読売	車人形に若き「柳玉」家元長男22年ぶり襲名	
2018	11	23	毎日	八王子車人形 五代目家元の長男・創さん「五代目西川柳玉」襲名「名に恥じないよう精進」	
2018	12	3	東京	「八王子車人形」の西川古柳座 五代目柳玉 家元長男が襲名	

調査対象とした視聴覚資料

1 西川古柳座所蔵資料のデジタル化視聴覚資料（平成29～30年度実施）

凡例

- ・八王子市教育委員会は、八王子車人形文化財調査の一環として、西川古柳座所蔵の視聴覚資料を調査し、散逸の恐れのある資料保存のため、年代の古いものを中心にデジタル化した。
- ・タイトル、撮影年月日は、資料に手書きで記載されていた内容である。
- ・資料を把握する目安として撮影または録音当時の八王子車人形の家元を示した。

No	タイトル	出演者	家元	撮影または録音年月日	時間(分)	年度
1	第14回民俗芸能公演	西川古柳座	四代目	1972/6/10～11	29	29
2	日本の民俗劇と人形芝居の系譜～車人形と説経節～	西川古柳座	四代目	1983/3/30～31	99	29
3	柿落とし 朝日テレビ	西川古柳座	四代目	1985/10/10	56	29
4	八王子車人形 五代目西川古柳襲名披露公演	西川古柳座	五代目	1996/10/26	150	29
5	夕やけの里の人形師	西川古柳座	四代目	1985/10/12	31	29
6	思い出のビデオ集 (1976,1978,1979,1980,1987,1986)	西川古柳座	四代目	1976/7/10	98	29
7	東京の里(四季) 三多摩	西川古柳座	四代目	1983/3/1	27	29
8	16mm フィルムフジテレビジョン 荒瀬光夫	西川古柳座	四代目	1976/7/10	26	29
9	不明(18mm テープ)	西川古柳座	四代目	1976/7/10	16	29
10	三代目古柳三味線	西川古柳座	三代目	1969/9/12	45	29
11	佐倉宗五郎 太夫 小沢健一 曲師 瀬沼周助	西川古柳座	三代目	1962/7/27	32	29
12	八王子車人形と私 西川古柳	西川古柳座	四代目	1992/8/4	105	29
13	小栗判官・照手姫対面 若太夫米寿記念、若太夫宅にて	西川古柳座	四代目	1982/4/29	65	29
14	八王子説経節 照手姫対面の段(昭38 十代若太夫襲名) 照手車引	十代薩摩若太夫	三代目	不明	67	29
15	小栗判官一代記(車引き)、日高川入相桜(堤・渡し場)	十代薩摩若太夫	三代目	1962/11/21	70	29
16	車人形 NHK放送 録画	西川古柳座	三代目	1964/11/18	3	29
17	NHK TV放送「車人形」朝の話題録音テープ	西川古柳座	三代目	1964/11/18	6	29
18	甚兵衛	西川古柳座	三代目	1950/11/21	26	29
19	笑点 車人形 (東海道中膝栗毛、落語、浪曲)	西川古柳座	四代目	1971/10/3	11	29
20	三代目時代の三番叟の太鼓のたたき方	西川古柳座	三代目	不明	9	29
21	三番叟	(義太夫)	三代目	不明	20	29
22	三番叟	綾太夫他	三代目	不明	40	29
23	お七 文昇 けいこ 古柳	西川古柳座	四代目	不明	60	30
24	民俗芸能フェス 三庄太夫(1978)、佐倉義民伝(1979)	西川古柳座	四代目	1979	120	30
25	おはようサンデー『車人形』7/4(日)	西川古柳座	四代目	1971/7/4	10	30
26	昭和46年 フジテレビ 15分放送 車人形	西川古柳座	四代目	1971	15	30
27	フジテレビ放送、八王子車人形 古柳、冠次郎、津賀太夫、浜尾太夫、柳車、柳玉、柳松	西川古柳座	四代目	1971/1/5	15	30
28	長歌 三番叟	西川古柳座	四代目	不明	不明	30

2 調査確認視聴覚資料

西川古柳座所蔵の確認視聴覚資料 1,393件

文化財課所蔵の視聴覚資料 57件

対象とした視聴覚資料の記録形式は、8・16・18ミリフィルム、ビデオ(VHS・ベータ)、8・16ミリビデオ、DVD、CD、カセットテープ、MD、DAT、オープンリールテープ、マグネティックテープである。

付録DVDについて

本書付録DVDには、八王子車人形の無形民俗文化財としての特徴を捉える資料となるよう、八王子車人形の初期（昭和四十年代以前）の操法と上演の様子を辿ることのできる映像二点および、現在、八王子車人形の初期以来の振り付けを伝承している（五代目西川古柳による）三演目、「日高川入相花王 道行より渡し場の段」「信田妻 葛の葉二度の子別れの段」「小栗判官一代記 高倉館判官矢取りの段」および、説経節の地方（じかた）により昭和初期にも八王子車人形が演じていた「東海道中膝栗毛 赤坂並木の段」の現在の公演を収録した。また、現在八王子車人形で伝承されている「型」の五代目西川古柳による実演も収録した。

●映像「バーナード・リーチ撮影 日本旅行 一九三四-一九三五より車人形映像抜粋」

イギリスの陶芸家バーナード・リーチは昭和九（一九三四）年から昭和十（一九三五）年の来日中に民芸の制作風景等を16ミリフィルムに撮影していた。このフィルム（モノクロ無声）をバーナード・リーチより昭和四十九（一九七四）年に受け継いだカナダ在住の映像作家マーティ・グロス（Marty Gross 一九四八—）が、平成二十九（二〇一七）年に修復したものが、『バーナード・リーチ撮影 日本旅行 一九三四年—一九三五年』(Trip to Japan Filmed by Bernard Leach 1934-35 (70 minutes))であり、この中に、約五分程度の八王子車人形を写した映像が含まれている。マーティ・グロスの再生したフィルムの一部は、平成二十九（二〇一七）年、『民藝運動フィルムアーカイブ 名も無き美を求めて 1934-2017』展（無印良品 有楽町 ATELIER MUJI）において公開された。平成二十九（二〇一七）年八月十日の山梨日日新聞は「貴重な民芸運動 デジタルで記録」という見出しでマーティ・グロスの仕事を紹介し、八王子車人形の映像の存在にも言及している。

八王子市教育委員会は、マーティ・グロス氏および民藝運動フィルムアーカイブ制作委員会事務局の協力を得て、車人形の抜粋映像を付録DVDに所収した。

八王子車人形の映像の内容は、「人形操作、ろくろ車装着、三番叟実演、朝顔日記実演、説経節太夫実演」等であり、五代目西川古柳によれば、ろくろ車装着をしている人形遣いは、三代目西川古柳であるという。

制作 バーナード・リーチ

撮影年 昭和九（一九三四）年—昭和十（一九三五）年

編集 マーティ・グロス 二〇一九年

協力 民藝運動フィルムアーカイブ制作委員会事務局

民藝運動フィルムアーカイブ 提供

©Marty Gross Film Productions

<http://mingeifilm.martygrossfilms.com>

●白岩延明撮影「ろくろ車」

「ろくろ車」はアマチュア映像作家白岩延明によって昭和三十三（一九五八）年に撮影された。西川古柳座所蔵の人形首の紹介、八王子車人形の操法、三番叟などが含まれ、三代目西川古柳、四代目西川古柳が出演している。西沢幹夫は『小型映画』19—3で八王子車人形について「この素朴な民衆芸能には、8ミリマニアなら写欲をそそられよう」と述べた上で「地元のマニアで車人形を映画にしたのは小型映画友の会多摩支部長白岩氏だけ。他に東京の大島俊正氏が映画化して、朝日コンの特選になっている」と説明し、白岩延明の「ろくろ車」に言及している。

制作 白岩延明

制作年 昭和三十三（一九五八）年

協力 岩垂路子

●「信田妻 葛の葉二度の子別れの段」

平成二十六（二〇一四）年十一月二十三日にオリンパスホール八王子にて開催された第十二回八王子車人形と民俗芸能の公演より。

【人形遣い】 狐葛の葉 西川柳澄之、葛の葉姫 西川柳久美、
阿部保名 西川義輝、後見 西川古柳座

【説経節の会】 太夫 薩摩津賀太夫・薩摩花太夫・薩摩桃太夫、
三味線 京屋純、口上 薩摩宏太夫

撮影 保戸塚時久

撮影年 平成二十六（二〇一四）年

制作 八王子指定文化財芸能団体協議会

●「日高川入相花王 道行より渡し場の段」について

平成二十八（二〇一六）年十二月四日にオリンパスホール八王子にて開催された第十四回八王子車人形と民俗芸能の公演より。

【人形遣い】 清姫 西川柳澄之、船頭 西川柳桂、
里人・飛脚・坊さん 車人形研究会メンバー

後見 西川柳車、車人形研究会

【説経節の会】 太夫 薩摩津賀太夫、三味線 京屋純、口上 薩摩宏太夫

撮影 保戸塚時久

撮影年 平成二十八（二〇一六）年

制作 八王子指定文化財芸能団体協議会

●「小栗判官一代記 高倉館判官矢取りの段」

平成二十九（二〇一七）年十一月五日にオリンパスホール八王子にて開催された第十五回八王子車人形と民俗芸能の公演より。

【人形遣い】 小栗判官政清 西川古柳、
高倉大納言兼家 西川柳時、御代 西川柳車、
門番 西川柳桂・西川柳起

【説経節の会】 太夫 薩摩津賀太夫・薩摩花太夫・薩摩桃太夫、
三味線 京屋純、口上 薩摩宏太夫

撮影 保戸塚時久

撮影年 平成二十九（二〇一七）年

制作 八王子指定文化財芸能団体協議会

●「東海道中膝栗毛 赤坂並木より卵塔場の段」

平成三十（二〇一八）年十一月十一日にオリンパスホール八王子にて開催された第十六回八王子車人形と民俗芸能の公演より。

【人形遣い】 弥次 西川古柳、喜多 西川柳時、親父 西川柳車、
子供 西川柳桂、後見 西川柳起・西川柳澄之・西川柳久美

【説経節の会】 太夫 薩摩津賀太夫・薩摩花太夫・薩摩久太夫、
三味線 京屋純・京屋裕、口上 薩摩宏太夫

撮影 保戸塚時久

撮影年 平成三十（二〇一八）年

制作 八王子指定文化財芸能団体協議会

●「八王子車人形型操法」

八王子車人形で現在、伝承されている「型」の五代目西川古柳の実演を収録した。「型」を演ずる準備段階としてのろくろ車装着、人形装着の様子も、一連の操作として撮影している。本書第三章第一節に人形装着およびろくろ車装着、本書第三章第二節に「型」を詳述した。DVDに収録した操法および型は左記のとおりである。

八王子車人形型操法 型一覧(立役の型、女形の型)

女形																	立役											人形種類		
30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
入る	後振り	座りからの入り込み	姿見	帯締め	髪撫ぜ	両手打ち	左右の膝送り	左右を指す	お辞儀	座るから立ち	左右のねじ	出る	人形の足をつける	入る	後振り	座りからの入り込み	行きつ戻りつ	姿見	一足立ち 膝打ち	帯締め	座つての棒足、立つての棒足	両手打ち	左右の膝送り	左右を指す	お辞儀	座る	左右のねじ	出る	ろくろ車に乗る	型の名称

撮影 株式会社キングエイトファクトリー
 撮影年 平成三十一（二〇一九）年
 演者 五代目西川古柳（瀬沼亨）
 制作 八王子市教育委員会

註

バーナード・リーチの昭和九（一九三四）年四月—昭和十（一九三五）年五月の来日に関しては、バーナード・リーチ著 福田陸太郎訳『東と西を超えて 自伝的回想』、日本経済新聞社、一九八二年、『工藝』五三号等より、日本民藝館の開館準備のため、各地の民芸資料を収集中であった柳宗悦に同行して栃木県益子や鳥取を訪れたことが分かっているが、八王子や人形芝居に関する記載は見られない。

『バーナード・リーチ撮影 日本旅行 一九三四年—一九三五年』の16ミリフィルムの情報を収めた、スミソニアン博物館のカタログ（Archives, Manuscripts, Photographs Catalog, Smithsonian Institution Research Information System(SIRIS)）に「Bernard Leach's Scenes of Japan, Korea, Hong Kong, and Shanghai 1934-1935」とあり、「Footage, shot during Leach's travel in the Far East, including in Mashiko village, (中略), demonstration of <ninjutsu> techniques; one-man puppet performances known as <kuruma ningyo>(cart doll)accompanied by <joruri>chanters; (後略)」(バーナード・リーチの極東旅行中の撮影映像、益子の村、(中略)、「忍術」の実演、車人形という一人遣いの操り人形の、浄瑠璃の太夫伴奏による実演)と説明されている。『東と西を超えて 自伝的回想』において、バーナード・リーチは忍術の実演を見、途中から16ミリフィルムを回し撮影したこと、また、昭和十（一九三五）年に、帰国後「リトル画廊」において自作の陶器と日本の民芸品等の展覧会を開催し、「私は前述した時代遅れの日本人スパイのものも含めて、日本で撮った十六ミリフィルムを彼らに見せたのであった」と述べている[バーナード・リーチ 一九八二 二八四頁]ことから、八王子車人形映像も、昭和十（一九三五）年に、イギリスで紹介されていたものと考えられる。水尾比呂志は『工藝』四〇八（昭和六十一（一九八六）年）においてバーナード・リーチの昭和九（一九三四）年の来日について、「約一カ年の滞日中、リーチは多くの人びとの篤い敬愛の情に包まれ、(後略) 旅先の各地の風光と人情と味覚を堪能し」と述べている。八王子車人形視察も、バーナード・リーチのこのような活動の中にあつたものと想像できよう。

(執筆 服部 真理)

八王子車人形関連文献一覧

- 小澤愛園 一九一四「浅草の操り芝居」『演芸画報』
- 三田村鳶魚 一九二五『娯楽の江戸』、恵風館
- 小田内通久 一九二八「車人形の式三番叟」『民俗藝術』第一卷第三号
- 小田内通久 一九二八「八王子車人形の話」『民俗藝術』第一卷第五号
- 小田内通久 一九二八「八王子の車人形見学」『民俗藝術』第一卷第八号
- 小寺融吉 一九二九「影絵・写し絵・指人形」『民俗芸術』第二卷第四号
地平社書房
- 鈴木信太郎 一九二九「車人形の記」『アルト10』
- 鈴木信太郎 一九二九「車人形の記」(2)『アルト11』
- 南江二郎 一九二九「我が偶人劇の世界的地位と其特色」『民俗藝術』第二卷第四号
二卷第四号
- 武蔵野會 一九二九「八王子車人形」(口絵写真)『武蔵野』第十三卷第四号
- 柳田國男 一九二九「オシラ神と人形」『民俗藝術』第二卷第四号
- 萬屋長右衛門 一九二九「玉川文楽の車人形と寫し絵」『民俗藝術』第二卷第四号
- 北野博美 一九三〇「實演会記録——寫し絵・奥浄瑠璃・のろま人形」の会のこと」『民俗藝術』第叁卷第五号
- 村上清文 一九三〇「玉川文楽の絵看板」『民俗芸術』第三卷第五号
地
平社書房
- 小田内通久 一九三二「車人形考案の根拠」『旅と伝説』第五卷一二号
三元社
- 小田内通久 一九三二「車人形」『国劇要覧』坪内博士記念演劇博物館編
纂梓書房
- 瀬沼一郎編集 一九三二「八王子市郷土資料」(1983年復刻版)八王
子市教育会
- 宮尾しげを 一九三三「小河内車人形」菊池山哉編 一九三三『多麻史
談』創刊号 多麻史談会事務所
- 天野佐一郎 一九三四「車人形説経節に就いて」『多麻史談』第二卷第二
号 多麻史談会事務所
- 西川説兒 一九三四「車人形の発生とそのテクニクに就て」『多麻史談』
第二卷四号 多麻史談会事務所
- 八王子市教育會 一九三七『八王子郷土読本 前編』八王子郷土読本刊行會
- 廣川清 一九四〇「碁盤人形の二形式と車人形」『旅と伝説』第一三四年

号 三元社

- 吉田冠之助 若松若太夫 一九四〇「衰亡の芸を護る」『芸談百話』博文社
- 鈴木信太郎 一九四一「八王子車人形のこと」『三田文学』16-4
- 石割松太郎 一九四三「人形芝居の研究」修文館
- 小澤愛園 一九四三「世界各國の人形劇」慶應出版社
- 金原省吾 一九四三「車人形」『美の表現について』青磁社
- 山田徳兵衛 一九四三『日本人形史』富山房
- 河竹繁俊 一九四六『歌舞伎襖記』光文社
- 石井丑之助 一九四七『車人形』(私版本 限定22部)こけし文庫
- 堂本寒星 一九四七『日本の人形芝居』河原書店
- 本山桂川 一九四七『藝能民俗圖誌』崇文堂
- 鈴木信太郎 一九四九「八王子車人形」『隨筆集 お祭りの太鼓』朝日新
聞社
- 鈴木信太郎 一九四九「八王子車人形覚書」『諸国の人形芝居』(河竹繁俊
編) 大日本雄弁会講談社
- 郡司正勝 一九四九「八王子の車人形」『諸国の人形芝居』大日本雄弁講
談社
- 鈴木信太郎 一九五〇「車人形」『郷土芸能』日本民謡協会
- 八王子市役所 一九五〇『八王子市勢要覧』
- 石井丑之助 一九五一「人形浄瑠璃研究」車偶庵文庫
- 石井丑之助 一九五二「車人形雜録 西川古柳を訪ねて」『ふく笛』第六号
関門民芸会
- 三田村鳶魚 一九五二「明治大正人物月旦」『自警』第三四卷第六号 自警會
- 齋藤清二郎 一九五三「文楽首の作者と焼印」『文楽首の名作』2 「文楽
首の名作」刊行会編集 毎日新聞社
- 山田徳兵衛 一九五三「人形芸術」創元社
- 齋藤清二郎 一九五四「文楽首というもの——地方の人形座——」『文楽首の
名作』3 「文楽首の名作」刊行会編集 毎日新聞社
- 清水正之 一九五六「八王子車人形について」『八王子の寺社と人物遺蹟』
- 京王多摩文化資料第四集 京王多摩文化会
- 田中稔 一九五六『郷土芸術 八王子車人形 第一回文化財指定記念公演』
八王子車人形後援会
- 田中利雄 一九五七『三多摩風土史』鉄生堂書店
- 落合達郎 一九五九「冠次郎夜話——車人形ききがき——」『横山文化』横山
文化会

八王子市役所 一九五九『八王子市勢要覧』
 霞生 一九六〇『薬師様のかけ絵』『多摩文化』第五号 多摩文化研究会
 廣川清 一九六三『三つの人形芝居』吾妻書房
 齋藤清二郎 一九六四『日本の〈首〉かしら』岩崎美術社
 齋藤清二郎監修 一九六四『浄瑠璃人形の歴史 日本のお首〈かしら〉展』新宿伊勢丹
 秋山竜英 一九六六『資料・車人形の歴史と現状』『音楽』四月号 第九号 音楽評論社
 東京都八王子市制要覧 一九六六『はちおうじ市制50周年記念』
 齋藤清二郎 一九六七『かしら』『日本美術工藝』2月号 341 日本美術工藝社
 佐々木蔵之助 一九六七『八王子車人形』『八王子市史 下巻』八王子市史編さん委員会
 東京民芸協会 一九六七『八王子の車人形と軍道紙見学会 東京民芸協会三月例会』『民芸手帖』42
 多摩中央信用金庫 一九六七『民族芸能を訪ねて（八王子の車人形）三代目西川古柳さんに聞く』『むさしの7』
 西沢幹夫 一九六七『武蔵野の面影のこす多摩丘陵』『小型映画』19-4
 石川浪之助 一九六八『説経語り五十年』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 石川浪之助他 一九六八『座談会 車人形について』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 大島俊正 一九六八『車人形』着想から完成まで―題材の発見―百科事典のパンフレットから』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 小田内通久 一九六八『八王子車人形の話』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 文化研究会（『婦人公論』一九五二年より転載）
 落合達郎 一九六八『冠次郎夜話―車人形さきさき―』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会（転載）
 京屋小浜（水島しん）一九六八『説経浄瑠璃出演日記』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 久米井亮江 一九六八『武蔵野に咲かせばや車人形』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 群司正勝 一九六八『車人形』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 座元 西川柳時 一九六八『八王子車人形売込帖（昭和七年一月）』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会

齋藤清二郎 一九六八『八王子の車人形座―文楽首というもの―』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会（毎日新聞社刊『文楽首の名作』より転載）
 塩田真八 一九六八『八王子車人形こぼれ話』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 鈴木信太郎 一九六八『八王子車人形覚書』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会（転載）
 鈴木龍二 一九六八『武州八王子市の道草』多摩文化研究会（車人形保存論）
 鈴木龍二 一九六八『車人形は如何に保存すべきか』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 説経浄るり研修保存会 一九六八『八王子車人形の地盤江戸説経を護る人々』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会（転載）
 高橋碩一 一九六八『車人形』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会（転載）
 多摩文化研究会 一九六八『説経規定』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 多摩文化研究会 一九六八『門弟連名控』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 多摩文化研究会 一九六八『人形興行之覚（昭和三年一月ヨリ昭和四年十一月迄）』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 多摩文化研究会 一九六八『人形売込覚（昭和五年二月八日）』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 多摩文化研究会 一九六八『車人形興業扣（昭和六年一月吉日）』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 多摩文化編集部 一九六八『武蔵車人物語』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会（一九五七年九月三日東京新聞の転載）
 紫胡庵 一九六八『私の説経三味線修行の思い出』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 菱山愛子 一九六八『八王子車人形について』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 細川喜治 一九六八『車人形、流行は御免』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会
 三田村鳶魚 一九六八『車人形と説経節』『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会（『娯楽の江戸』より転載）

若松若代志 一九六八「十代目家元薩摩若太夫一代」『多摩文化』第二〇号 多摩文化研究会

後藤聡一 一九六九「根っからの人形好き」『多摩文化ニュース』第二九号 多摩文化研究会

鈴木龍二 一九六九「アメリカで聞いた話」『多摩文化ニュース』第二九号 多摩文化研究会

高橋碩一 一九六九「反骨が生んだ至芸―三代目西川古柳師をしのぶ―」『多摩文化ニュース』第二九号 多摩文化研究会

永田衡吉 一九六九「改訂日本の人形芝居」錦正社

松井翠次郎 一九六九「古柳と労音」『多摩文化ニュース』第二九号 多摩文化研究会

四代目西川古柳 一九七〇「車人形と鈴木先生」『多摩文化ニュース』第三七号 多摩文化研究会

タカクラテル 一九七一「民族芸能・作品集(1)―函館労音文芸学院朝日新聞社編 一九七一―武蔵野むかしむかし(下巻)―」新人物往来社

小河内・川野車人形保存会 一九七一「人形浄瑠璃と車人形」小河内・川野車人形保存会

高橋碩一 一九七一「西川古柳師をしのぶ」(『多摩文化ニュース』一九六九再掲)『歴史と庶民の対話』新日本出版社

西川古柳 一九七一「車人形と鈴木先生」『多摩文化』第二二号 多摩文化研究会

国立劇場事業部 一九七二「国立劇場第十四回民俗芸能公演」『日本の民俗劇と人形芝居の系譜 古浄瑠璃系人形と特殊な一人遣い』国立劇場事業部

段木一行 一九七二「武蔵野歴史探訪」新人物往来社

西川古柳 一九七二「車人形沖繩に渡る」『多摩文化ニュース』第四五号 多摩文化ニュース編集委員会

荒木繁・山本吉左右編注 一九七三「説経節 山椒太夫・小栗判官」平凡社

佐藤孝太郎 一九七三「多摩歴史散歩 1 八王子南多摩丘陵」有峰書店 新社

東京百年史編集委員会 一九七三「東京百年史」東京大学 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 一九七三「図録 第1集」早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

川尻泰司 一九七四「人形劇」『万有百科大事典3 音楽 演劇』小学館
菱山愛子 一九七四「八王子車人形について」『民俗芸能』五四号 民俗

芸能学会

宮尾しげを 一九七四「八王子の車人形」『民俗芸能』五四号 民俗芸能学会

山田庄一 一九七四「人形浄瑠璃」『万有百科大事典3 音楽 演劇』小学館
阿部光子 一九七五「諸国人形芝居巡り② 生きつづける車人形」『ミセス』文化出版局

創価大学八王子研究会 一九七五「八王子車人形と私達」『八王子を語る』八王子市広報協議会 一九七五「祖先が残してくれた重さ 八王子車人形」『グラフ八王子』第五号

色川大吉 一九七六「明治精神史(上)」講談社

多摩文化研究会現代人形劇センター 一九七六「日本の人形劇」(財)現代人形劇センター

高橋碩一 一九七六「車人形」『伝統芸能の成立 伝統と現代②』松島栄一 編 學藝書林

東京都 一九七六「グラフィア 八王子」『とうきょう広報』76 1

東京都 一九七六「グラフィア 東京都の文化財 最終回 八王子車人形」『とうきょう広報』76 3

安田武 一九七六「日本の人形芝居」平凡社カラー新書44、平凡社

桜沢一昭 一九七七「幻境」『風流なる田人』秋山国三郎「第三文明」

新三多摩新聞社 一九七七「グラフィア三多摩」10. 1 第四号(八王子車人形 人形師西川古柳の世界)

佐藤広 一九七七「八王子車人形の現状」『八王子市郷土資料館だより』No. 1

中央公論社 一九七七「三田村鳶魚全集」第二六卷(日記(中))

小池龍三 一九七八「八王子の車人形」『多摩のあゆみ』第一〇号 多摩中央信用金庫

川尻泰司 一九七八「わたしたちの人形劇」国土社

国立劇場文楽協会 一九七八「第四期文楽研修生発表会 昭和五十四年二月二十五日(二時開演)」国立劇場小劇場 国立劇場文楽協会

国立劇場文楽協会 一九七八「第三期文楽研修生発表会 昭和五十三年二月二十六日(一時開演)」国立劇場小劇場 国立劇場文楽協会

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 一九七八「演劇博物館五十年」色川大吉 一九七九「絹の道の賑わい」『明治大正図誌 7』筑摩書房
小西四郎 一九七九「図説 昭和の歴史 1 昭和史の原像」集英社
鈴木信太郎 一九七九「八王子車人形」『日本の人形 古典人形の美/郷土

人形図鑑／人形に会う旅』読売新聞社

八王子百景を描く会一九七九「車人形（清姫道行）」（絵画 高橋清和）

『八王子百景を描く会』東京新聞ショッパー社

村上直・沼謙吉一九七九『わが町の歴史・八王子』文一総合出版

調布市郷土博物館一九八〇『調布（たづくり）展』調布市郷土博物館

廣瀬艶子一九八〇『糸繰り草八王子・町角の今昔』

山田庄一九八〇『かしら日本の人形芝居』立風書房

朝日新聞東京本社企画部編一九八一『生きてゐる人形芝居展 図録』朝日新聞社

佐藤広一九八一「人形遣い丹沢翁聞書」『桑都民俗の会月報』二四 桑都民俗の会

自由民権百年高知県記念事業実行委員会一九八一「自由民権百年記念展要覧」自由民権百年高知県記念事業実行委員会

自由民権百年全国集会実行委員会一九八一「自由民権百年」自由民権百年全国集会実行委員会

星野サエ一九八一「人情味あふれる村々——南関東地方——」『生きてゐる人形芝居展 図録』朝日新聞社

町田市立博物館一九八一「武相の民俗芸能展」町田市立博物館

The Hachioji English Speaking Society, "HACHIOJI Venture and Vitality", Edited and Published by The Hachioji English Speaking Society, 1981.

永井啓夫一九八二『えとく——紙芝居・のぞきからくり・写し絵の世界——』白水社

梅田和子一九八三「奥多摩町川野の人形芝居首（かしら）について」『多摩のあゆみ』第三三号 多摩中央信用金庫

久米井亮江一九八三『晩春譜 武蔵車人形』研究社印刷株式会社

埼玉県立民俗文化センター編一九八三『埼玉県人形芝居用具緊急調査報告書』埼玉県の人形芝居用具（下巻）、埼玉県教育委員会

須井二郎一九八三「随想 車人形」『多摩のあゆみ』第三三号 多摩中央信用金庫

杉田芳春一九八三「奥多摩町「川野の車人形」『多摩のあゆみ』第三三号 多摩中央信用金庫

東京都教育庁生涯学習文化課一九八三『ふるさとめぐり 親子でたずねる東京の文化財』

永田衛吉一九八三『生きてゐる人形芝居』錦正社

八王子車人形・説経浄瑠璃の会一九八三『車人形』新門出版社

八王子車人形・説経浄瑠璃の会一九八三『説経浄瑠璃・車人形・写し絵』八王子車人形・説経浄瑠璃の会

八王子市郷土資料館一九八三『特別展図録 東京の娯楽——多摩地域を中心として——』

八王子市郷土資料館一九八三『八王子市郷土資料館15年史』

本田安次一九八四『東京都民俗芸能誌 上巻』錦正社

西角井正大一九八五『車人形の話』『民俗芸能公演プログラム』第一八号 埼玉県立民俗文化センター

古谷博一九八五『八王子の近代史』かたから書店

小笠原幹夫一九八六『芝居にみる自由民権』『日本近代文学』第三七集 日本近代文学会

川尻泰司一九八六『日本人形劇発達史・考』晩成書房

斎藤清二郎一九八六『かしら／人形浄瑠璃の首』岩崎美術社

国立劇場事業部一九八六『国立劇場第四十八回 民俗芸能公演日本の民俗劇と人形芝居の系譜 車人形と説経節』国立劇場事業部

色川大吉一九八七『明治精神史（上）』講談社学術文庫、講談社

植松森一一九八七『郷土夕焼けの里』文成社

小林源次郎一九八七『写し絵』中央大学出版部

桜沢一昭一九八七『鳶魚再見——三田村玄竜と中里介山——』『多摩のあゆみ』第四三号 多摩中央信用金庫

鈴木信太郎一九八七『美術の足音 今は昔』博文館新社

八王子市教育委員会一九八七『八王子の歴史と文化』八王子市教育委員会

三芳町一九八七『三芳の歴史』三芳町

志茂甲子男一九八八『車人形の頭』『槐（えんじゆ）』（同人雑誌）

川口地区社教郷土史研究会十周年記念誌編集委員会一九八八『川口の郷土史』川口地区社教郷土史研究会十周年記念誌編集委員会 清水工房

八王子市郷土資料館一九八八『八王子市郷土資料館だより』No.34

宮尾與男一九八八『車人形（東京）——一人遣いの人形』『国文学解釈と鑑賞』五三一五 至文堂

梅田和子一九八九『現行の説経節と先行の説経節』『多摩のあゆみ』第五七号 多摩中央信用金庫

小沢勝美一九八九『多摩地方の説経浄瑠璃の系譜』『多摩のあゆみ』第五七号 多摩中央信用金庫

杉田芳春一九八九『奥多摩町・川野車人形の歴史と現況』『多摩のあゆみ』

第五七号 多摩信用金庫

佐藤和代 一九八九「八王子車人形の研究―説経（小栗判官）矢取の段の正本の検討を中心に―」『成城大学近世ゼミナール会報』七 近世ゼミナールOB会

法政大学 多摩の歴史・文化・自然環境研究会（編集代表）小沢勝美・

宮川孝之一九九九『日本文化の伏流 民衆芸能 説経節集「解説書上巻、下巻」』CD付 法政大学多摩地域社会研究センター

宮川孝之一九九九「八王子車人形と説経節」『多摩のあゆみ』第五七号

多摩信用金庫

植松森一九九〇『続 郷土夕焼けの里』文成社

下島彬 一九九〇『多摩の伝統技芸・1』中央大学出版部（新車人形に取り組む西川古柳一座 pp.11-21）

西角井正大 一九九〇「八王子車人形の新展開をお手伝い」『日本人形劇人』五〇 日本人形劇人協会

八王子市郷土資料館 一九九〇「八王子市郷土資料館だより」No.40

宮川孝之一九九〇「八王子車人形（宮川孝之写真集）」ぎょうせい

奥多摩町教育委員会 一九九一「川野車人形」『奥多摩町の文化財』奥多摩町教育委員会

酒井久 一九九一「川野の車人形台湾公演に同行して」『郷土研究』第二号

佐藤広 一九九一「八王子車人形・夕笛」の公演を終えて」『八王子市郷土資料館だより』四一 八王子市郷土資料館

八王子市郷土資料館 一九九一「八王子市郷土資料館だより」No.42

朝日新聞社 一九九二「車人形に吹き込まれたスペインの情熱」『アサヒグラフ』七月二四日号 朝日新聞社

中村規 一九九二『江戸東京の民族芸能4 田楽・田遊び・地狂言ほか』主婦の友社

沼謙吉 一九九二「桑都八王子の歴史」『多摩歴史街道』相武国道25周年記念誌編集委員会

宇野小四郎 一九九三「車人形と乙女文楽」『車人形と乙女文楽―三人遣いに学んだ一人遣い―』国立劇場

恩方の歴史を知る会 一九九三『恩方の歴史年表』恩方の歴史を知る会

石井丑之助 一九九四『車偶庵の郷土玩具』国書刊行会

佐藤高一九九四「ふるさと東京 民俗芸能」『二』朝文社

赤羽英子 一九九五「説経節の会の活動と将来」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

秋谷治 一九九五「説経節の遠近―歴史的地域の変遷と現状及び影響―」

『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

岩本行雄 一九九五「八王子車人形について」『由比野』第六号 元八王子歴史研究会

梅田和子 一九九五「十代目薩摩若太夫 内田総淑の芸とその系譜」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

久保喜一 一九九五「川口村の写し絵―玉川馬蝶のことなど―」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

小泉栄一 一九九五「鍾水村の説経浄瑠璃」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

小花波平六 一九九五「五代目薩摩若太夫・諏訪仙之助」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

佐藤広 一九九五「八王子の民俗」揺籃社

佐藤広 一九九五「説経節を語る人々―八王子の説経語り―」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

芝綾子 一九九五「十代目薩摩若太夫」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

原嘉文 一九九五「西多摩の芸能史断章」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

本田安次 一九九五「十代目薩摩若太夫の思い出」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

松本富雄 一九九五「竹間沢車人形に残る説経浄瑠璃の床本」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

三隅治雄 一九九五「説経節流転」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

宮川孝之・佐藤広・秋谷治 一九九五『小栗判官の世界』第五回全国をぐりサミット「八王子人形劇フェスティバル」実行委員会

若松小若太夫 一九九五「埼玉県西部の説経節の資料について」『多摩のあゆみ』第八〇号 たましん地域文化財団

渡辺嘉平 一九九五「宮様と車人形」『山村の詩』かたから書店新書42

秋谷治 一九九六「説経祭文の江戸期資料小考」『一橋論叢』日本評論社

中里介山 一九九六『大菩薩峠16』（全20巻）（新月の巻）筑摩書房

西川古柳襲名披露実行委員会 一九九六「八王子車人形―五代目 西川古柳襲名披露公演―」西川古柳襲名披露実行委員会

はちおうじ車人形研究会 一九九六『東京に残る江戸・人形芝居の世界』

八王子車人形』のんぶる舎

八王子市教育委員会 一九九六「はちおうじの教育」第二〇号

東京都教育庁生涯学習文化課 一九九七『東京の文化財』第七三号（人形

遣いの技を伝える八王子車人形（西川古柳座と糸あやつり（結城座）

八王子車人形・学生ジョイント公演実行委員会 一九九七『八王子車人

形・学生ジョイント公演（八王子市学園都市センターオーブン記念

八王子車人形 国記録無形民俗文化財選択記念』八王子市教育委員

会 社会教育課

柿本蓮生 一九九八『八王子車人形について』『ソーダと塩素』日本ソ

ダ工業会

東京都江戸東京博物館 一九九八『川野の車人形 調査と映像記録 映像

音響資料制作に伴う調査報告 3』財団法人東京都歴史文化財団

下中座 一九九八『相模人形芝居下中座のあゆみ：国指定重要無形民俗

文化財』相模人形芝居下中座

菅原靖 一九九八『八王子車人形「八百屋お七」』（版画、表紙絵）『八王

子の八王子市民によるコミュニティチャンネル One Two えい

と この号』えいと舎

沼謙吉 一九九八『車人形（八王子市・奥多摩町）』『郷土 東京の歴史』、

北原進編

八王子車人形後援会 一九九八—二〇一六『八王子車人形後援会』No.1、

33（7、10、22、27が2017年3月現在欠落している）

樋口豊治 一九九八『市民のための八王子の歴史』

秋谷治 一九九八『説経節（小栗判官）の鬼鹿毛』『多摩のあゆみ』第

九五号 たましん地域財団

東京都江戸東京博物館 一九九八『川野の車人形 調査と映像記録映像音

響資料制作に伴う調査報告 3』

西角井正大 一九九八『車人形』『日本民俗大辞典 上』吉川弘文館

沼謙吉 一九九八『多摩村の車人形』『多摩市史 通史編二 近現代』多摩市

発行 一二五巻四号 日本評論社

三田村鳶魚 一九九八『人形芝居と能』中央公論新社

沼謙吉 二〇〇〇『八王子車人形と秋山国三郎』『郷土史』第二二二号 川

口地区社数郷土史研究会

秋谷治 二〇〇一『芸能の流転—説経節の場合—』『橋論叢』日本評論社

秋間健郎 二〇〇二『講演』地域に根ざした文化活動—恩方村を事例と

して—』『郷土資料館研究紀要 八王子の歴史と文化』第一四号 八

王子市教育委員会

大谷津早苗・安蔵裕子 二〇〇二『矢崎家所蔵人形浄瑠璃のかしら・衣裳

について』港区立港郷土資料館『研究紀要7』

八王子車人形後援会編 二〇〇二『うなづき 宗家・西川柳峰追悼誌』ふ

こく出版

小澤勝美 二〇〇三『多摩シンポジウム 伝統芸能の現在—多摩の文化と

風土—』法政大学多摩地域社会研究センター研究年報』第七号 法政

大学多摩地域社会研究センター

佐藤広 二〇〇三『歴史行政事始—市民との協働の場を求めて—』『郷土

資料館研究紀要 八王子の歴史と文化』第一五号 八王子市郷土資料館

小谷悦子 二〇〇五『三田村鳶魚研究の軌跡』中央公論事業出版

佐藤広 二〇〇五『地域文化としての八王子車人形』『中央評論』二五三

中央大学

佐藤広 二〇〇五『坪内逍遙と八王子車人形—逍遙日記から—』『桑都民

俗』第二三三号 桑都民俗の会

佐藤広 二〇〇五『八王子車人形の保存伝承とその環境整備—』法政大学

地域研究センター叢書5 歴史的環境の形成と地域づくり』名著出版

浅沼墨 二〇〇六『八王子時代の信太郎』『親密な空間 色彩の旅人 鈴木信

太郎展』そごう美術館

澤井万七美 二〇〇六『東京文楽』と『義太夫人形座』—四世吉田国五

郎と吉田新三郎の足跡—』『藝能史研究』No.173 藝能史研究会

説経節の会 二〇〇六『説経節の会 二〇周年記念誌 説経太夫列伝—聞き

書き集—』坂田宏之編集 説経節の会

安藤俊次・平野井ちえ子・梶裕史 二〇〇七『江戸庶民の娯楽を考える—

人間環境セミナー—』江戸庶民の娯楽—を終えて—』法政大学学術機関

リポジトリ

加藤暁子 二〇〇七『日本の人形劇 1867—2007』法政大学出版局

佐藤広 二〇〇七『世界に発信する東京の伝統芸 八王子車人形の誕生』『図

説 八王子・日野の歴史』峰岸純夫監修 郷土出版社

説経節の会 二〇〇七『恩方の説経、芸を残すということ』語り

手四代目西川古柳』『説経節の会 二〇周年記念誌 説経太夫列伝 —

聞き書き集—』説経節の会

八王子市郷土資料館 二〇〇七『特別展 写し絵・車人形・説経節』

サンメデア 二〇〇八『古今人』八月号

清水正之 二〇〇八『佐藤孝太郎先生と京王多摩文化会—史蹟探訪の草分

け―『多摩のあゆみ』第一三二号

石川博司二〇〇九『獅子舞雜記ノート27』多摩獅子の会

菊池明二〇〇九『三田村鳶魚翁と「明治大正人物月旦」』三田村鳶魚翁

遺稿 明治大正人物月旦 菊池明編集 道遙協会

久保喜一二〇〇九『写し絵日記 明治の写し絵師・玉川馬蝶の興行の記

録』清水工房

三田村鳶魚二〇〇九『三田村鳶魚遺稿 明治大正人物月旦』菊池明編集、

道遙協会（吉田冠十郎―江戸操の名残り）

柳澤和子二〇〇九『大正十三年の車人形東京公演をめぐる鳶魚と道遙―

坪内道遙と三田村鳶魚の日記をたどって―』三田村鳶魚『三田村鳶魚

遺稿 明治大正人物月旦』菊池明編集、道遙協会

笹子追分人形保存会 二〇一〇 P R誌「笹子追分人形」山梨県無形民

俗文化財指定笹子追分人形保存会

安藤俊次二〇一一『説経節「日高川入相模」を巡って―詞章研究―』

法政大学学術機関リポジトリ

西川古柳解説二〇一一『八王子車人形 挿絵で綴る演目解説』挿絵／長

谷川道子 八王子車人形後援会編集 八王子車人形西川古柳座

京王電鉄株式会社二〇一一『歴史と文化を訪ねて―京王文化探訪二十年

の歩み―』京王電鉄株式会社

東京都教育庁地域教育支援部管理課二〇一一『東京都の民俗芸能 ―東

京都民俗芸能調査報告書―』

八王子市市史編集専門部会民俗部会二〇一一『新八王子市市史民俗調査報

告書 第一集 八王子市西部地域 恩方の民俗』八王子市総合政策部市史

編さん室

細田明宏二〇一一『文楽式人形操法における「情」の表現とカシラの演

技―八王子車人形における操法の使い分けを手がかりにして―』帝京

大学文学部紀要 日本文化学 第四三三号

宮川孝之二〇一一『新 八王子の人びと』揺籃社

揺籃社二〇一一『はちとび 特集八王子車人形』第二〇号 揺籃社

かわせみ通信二〇一一『公演記録集「八王子車人形と民俗芸能の公演」

かわせみ通信社

多摩大学経営情報学部 社会学工学研究会二〇一一『三多摩壮士はなぜ生ま

れたのか―自由民権運動にみる多摩のDNA―』多摩学電子新書 vol.17

沼謙吉二〇一一『武相近代史論集―八王子・津久井を中心に―』揺籃社

（八王子車人形事始め―初代西川柳時の「覚え書き」）

細田明宏二〇一一『新車人形車人形と新車人形―八王子車人形・五代目

西川古柳氏に聞く―』八王子市史研究 第三号 八王子市史編さん室

本木達也二〇一三『八王子だるまの作者 井上竹次郎伝』鳥影社

安藤俊次二〇一四『説経節「道中藤栗毛 赤坂並木の段」を巡って』法

政大学学術機関リポジトリ

説経節の会二〇一五『説経節研究―歴史資料編―』方丈堂出版

説経節の会研究部二〇一五『説経節入門』説経節の会

瀬沼恭子二〇一五『車人形の家元に連れ添って―聞き書きで綴る 八王

子の女性史』八王子女性史サークル

沼謙吉二〇一五『八王子車人形と秋山国三郎』説経節研究―歴史資料

編―』説経節の会編集 方丈堂出版

昭和女子大学光葉博物館二〇一六『相模人形芝居の世界』

帝京大学総合博物館編二〇一六『世界にはばたく―伝統人形芝居― 八

王子車人形の世界』

帝国書院二〇一六『社会科学 中学生の歴史』帝国書院

五味元二〇一七『説経節考察―庶民芸能の視点から―』説経節の会通信

No.158』説経節の会

佐藤広二〇一七『説経節と車人形・写し絵』新八王子市史 民俗編』

八王子市史編纂委員会

説経節の会二〇一七『説経節研究 物語編「三庄大夫」せりか書房

八王子市史編集委員会編二〇一七『新八王子市史 通史編4 近世

（下）―八王子市

八王子市史編集委員会編二〇一七『新八王子市史 民俗編』八王子市

服部真理二〇一七『八王子車人形』の初期の三番叟について』八王子

市文化財年報 第一〇号、八王子市教育委員会

大谷津早苗二〇一八『車偶庵民俗文化資料館旧蔵 伝 相模人形芝居牧野人

形のかしら』昭和女子大学文化史研究 二一 昭和女子大学文化史学会

蒲生郷昭二〇一九『後期説経をめぐって―再興から』江戸時代音楽通解』

まで―』楽劇学 第二六号

久保喜一二〇一九『川口むかしむかし』清水工房

公益財団法人全日本郷土芸能協会二〇一九『奈佐原文楽調査報告書』文

化庁文化財第一課

さげさかのりこ二〇一九『かえってきた竹間沢車人形―三芳町・伝統

芸能をよみがえらせた町―』（絵本）三芳町役場

佐藤広 二〇一九『秋山国三郎の人形座の意義』『はちとび』No.42

説経節の会 二〇一九『薩摩派説経節 十代目薩摩若太夫集』（CD及
び解説書）説経節の会
早野慎吾編著二〇一九「日本語文化の研究別冊3 西川古柳座」五代目
西川古柳監修立川言語文化研究会
八王子市二〇二〇広報「はちおうじ」一月一日号 特集 八王子車人形